

1 グランドデザイン策定の背景

国（文部科学省）の動向

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」（2022.4実施）

- ・「社会に開かれた教育課程」の実現
- ・各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実現

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（2021.1）

（新時代に対応した高等学校教育等の在り方について）

- (2) ①各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）  
 ②各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針の策定（スクール・ポリシーの策定）  
 ③「普通教育を主とする学科」の弾力化・大綱化（普通科改革）  
 ④産業界と一体となって地域産業界を支える革新的職業人材の育成（専門学科改革）  
 ⑤新しい時代からこそ求められる総合学科における学びの推進  
 ⑥高等教育機関や地域社会等の関係機関と連携・協働した高度な学びの提供

県・県教育委員会による各種計画

いわて県民計画(2019～2028)

- 地域に貢献する人材の育成
    - ・ふるさとを愛し、社会に貢献する意識の醸成
    - ・教育機関や地元企業などの関係機関と連携した人材の育成
    - ・産学官が一体となった次代の産業を担うグローバル人材の育成
  - 文化芸術・スポーツを担う人材の育成
    - ・文化芸術活動を担う人材育成や競技力の向上
  - 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりの推進
    - ・高等教育機関等と連携した高い専門性と教養を備えた人材の育成及び地元定着に向けた取組の推進
- 第2期岩手県ふるさと振興総合戦略  
 ○ふるさとの未来を担う人づくり戦略

岩手県教育振興計画(2020.3)

- （取組の視点）
- 岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進
  - 郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成
  - 学びの場の復興の更なる推進

新たな県立高等学校再編計画後期計画(2021.5)

- （基本的な考え方）
- 生徒の希望する進路の実現
    - ・生徒が自ら希望する進路を実現できる教育環境の整備
  - 地域や地域産業を担う人材づくり
    - ・生徒が自己の興味・関心に基づき、地域の社会情勢や産業振興の動向等を踏まえ、学ぶことができる教育環境の整備

義務教育とのつながり

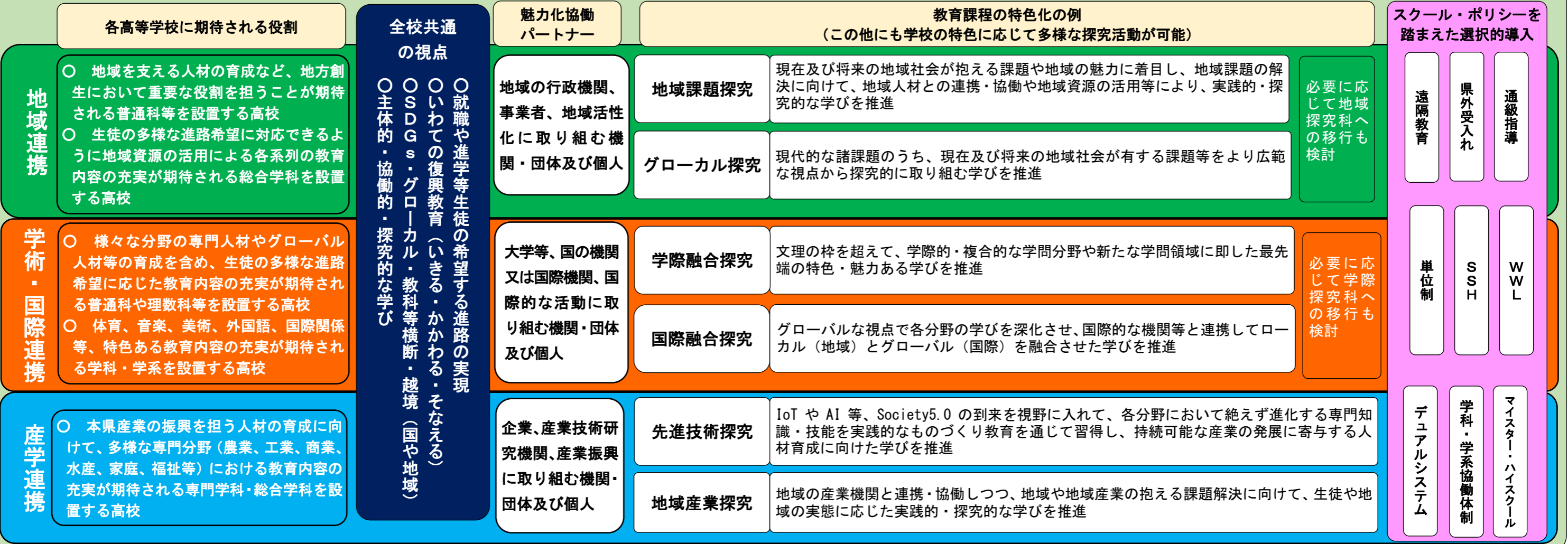
特色ある高校教育の実現

義務教育の実践

- いわての復興教育
- いわてのキャリア教育
- 地域や家庭と連携・協働して進める学校づくり
- 総合的な学習の時間
- 多様な体験活動
- ICTの活用

2 グランドデザインの方向性

魅力化協働パートナーとともに 特色ある教育課程を通じて 多様な生徒の学習意欲を喚起しながら可能性及び能力を最大限に伸長する 質の高い いわての高校教育



3 スクール・ポリシーの策定・運営方針

- ①上記3つの枠組みをそれぞれ意識しながらスクール・ポリシーを策定すること。
- ②探究的な学びを特色化の一つとして位置付けること。
- ③高校魅力化グランドデザイン（スクール・ミッション）に基づいて令和4年度中に策定・公表すること。
- ④魅力化協働パートナーを構成員に加えた協議会（学校運営協議会を含む）において検討・協議し策定すること。
- ⑤2031年までを期間として策定することとし、必要に応じて見直しを行うこと。
- ⑥併置校については、課程や学科ごとに策定することも構わないこと。
- ⑦協議会等においてスクール・ポリシーの評価・検証を定期的に行うこと。
- ⑧スクール・ポリシー策定後は、スクール・ポリシーを踏まえて学校経営計画等各種計画を作成すること。